

新潟市地域包括ケア計画(第8期介護保険事業計画)における認知症施策の実施状況

資料9
令和5年9月4日(月)
令和5年度第1回新潟市認知症対策地域連携推進会議

認知症施策の推進

①正しい知識と理解の普及

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)		
			単位	R3	R4	R5				
<p>○認知症は誰もがなりうることを、様々な機会をとらえ普及啓発し、地域全体が認知症への理解を深めていくため、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者となる「認知症サポーター」の養成を引き続き推進します。</p> <p>○認知症に対する正しい知識と理解が深まるよう、地域で暮らす認知症本人からの思いを発信するなど、認知症本人の参画する普及啓発の取組みを検討していきます。</p>	1	認知症サポーターの養成	地域住民、企業、学校などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の人や家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する。	指標	人/年	7,000	7,000	7,000	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成数累計見込み82,504人(H20～) ・地域住民向け養成講座は新型コロナウイルス発症前の状況に期に戻りつつあるが、企業・事業所や学校での開催は少ない。 ・月1回定例開催の小規模常設会場は2か所増(計5か所) 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き認知症サポーター養成者数の増加を図る。 ○キャラバン・メイト登録者の活動の場が広がるようメイト連絡会等とも情報共有しながら体制整備を進める。 ○R5年度版認知症安心ガイドブックの配布
	2	キャラバン・メイトの養成	認知症サポーター養成講座の講師役となる「キャラバン・メイト」を養成する。	実績	人/年	4,651	3,702		<ul style="list-style-type: none"> ・R4.7.29キャラバン・メイト養成研修 養成者45人(累計943人) ・R4.10.28キャラバン・メイトフォローアップ研修 受講者30人 ・多くのキャラバン・メイトが講師を担えるよう講師派遣のマッチングフローを作成し運用を開始 	
	3	市民向け講演会や出前講座の開催	認知症に関する正しい知識の普及を図ることを目的として市民向け講演会や出前講座を開催する。					<ul style="list-style-type: none"> ・各地域包括支援センター主催の講演会、地域からの依頼健康教室など認知症に関する講座を実施 ・在宅医療・介護連携センター実施の「医療・介護の市民公開講座」の開催 ・認知症疾患医療センター主催の市民公開講座の後援 R4.11.12「認知症の“今”を学ぼう」 受講者数130人 		
	4	認知症ケアパス「認知症安心ガイドブック」の作成	認知症ケアパス(認知症安心ガイドブック)を作成・配布し、認知症の容態に合わせた適切なサービス提供の流れや相談機関を広く市民に周知・普及する。					<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度版認知症安心ガイドブック5,000部を作成 ・区役所、地域保健福祉センター、医療機関、公民館、図書館、希望する薬局への配布のほか、認知症関連の講演会やイベント等で配布 		

②予防と社会参加

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)		
			単位	R3	R4	R5				
<p>○運動不足の改善、糖尿病や高血圧等の生活習慣病の予防、社会参加などが認知症の発症予防や進行を遅らせることに効果があるとされていることから、認知症に限らず、全ての高齢者への予防活動を引き続き推進していきます。</p> <p>○認知症カフェや地域の茶の間など、さまざまな地域活動を通じ、認知症になっても支えられる側ではなく、支える側としての役割をもって暮らせるよう、社会参加や生きがいがづくりを推進していきます。</p>	5	認知症予防出前講座	認知症予防に効果的とされる運動、脳を使ったトレーニングのほか、栄養・口腔ケアなど総合的な介護予防メニューを身近な地域で実施する。	指標 回/年	935	1,140	1,390	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、口腔メニューを除いた運動、脳トレを主としたメニューを実施 ・R4.9.27、10.6運動普及推進委員向け研修会開催(受講者117人) 内容:認知症の基礎知識 コロナ禍でも役立つ脳トレのすすめ方 	<p>○フレイルチェックの実施圏域を拡大を図る。</p> <p>○認知症カフェの立ち上げや認知症カフェへの運営支援につながる取組みを認知症地域支援コーディネーターと連携しながら行う。</p>	
	実績	回/年	844	1,020						
	6	フレイル予防事業	フレイルチェックを活用した予防事業を推進し、健康寿命の延伸を図る。	指標	圏域数	13	21	30		<ul style="list-style-type: none"> ・北区、東区、江南区、南区、西蒲区の各圏域で新たに実施(7区計18圏域) ・フレイルサポーター養成者数44人(累計94人)
	実績	回/年	13	18						
	7	認知症カフェや地域の茶の間への支援	認知症カフェや地域の茶の間の運営を支援し、生きがいを持ちながら役割を果たせる環境づくりを進める。	/				<ul style="list-style-type: none"> ・市内のカフェ運営者同士の情報交換会の開催(R5.2.8) 内容:「各地域の中での認知症カフェのあり方」について オレンジカフェしまちの取組み紹介 ・地域の茶の間への助成件数 月1回開催(337件)、月2回開催(17件)、週1回(80件)、モデルハウス(7件) 		
	実績	回/年								

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)		
			単位	R3	R4	R5				
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	8	認知症初期集中支援チームの設置	認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を対象に、医療介護の専門職がその家庭を訪問し、必要な医療や介護サービスの導入や調整、家族支援などを包括的、集中的に行う。	指標	箇所	5	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・5チーム体制を継続 相談件数55件、支援対象数40件(検討中除く) ・5チームとの情報交換会(2回)、事例検討会(2回)を開催。関係機関と相互理解を図るため各チーム毎に担当地域の地域包括支援センターとの意見交換会を開催したほか、居宅介護支援事業者等への事業の再周知のための啓発チラシを作成・配布(居宅支援事業所250か所)。 	<p>○認知症初期集中支援推進事業の活性化に向けた取組を引き続き進める。</p> <p>○医師会認知症委員会や認知症疾患医療センターの協力を得ながら、かかりつけ医、サポート医向けの研修の企画等を進める。</p> <p>○認知症対応力向上研修として、新たに4研修(歯科医師、薬剤師、看護師、病院勤務以外の看護師等)を新潟県と共同で実施する。</p>
	9	かかりつけ医認知症対応力向上研修	認知症の発症初期から状況に応じた支援を実施するため、高齢者が日頃より受診する診療所等の主治医(かかりつけ医)に対し、適切な認知症治療の知識・技術や本人とその家族を支える知識と方法を習得するための研修を実施する。	指標	人/年	20	20	20	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.10.16オンライン開催(受講者22人のうち新規受講者5人) 内容:認知症の基本知識 認知症診断における実践 かかりつけ医の役割 地域・生活における実践 ・かかりつけ医フォローアップ研修の実施(R4.12.4) 	
	実績	人/年	5	5						
	10	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修	認知症の人が安心して入院生活が過ごせ、適切な治療が受けられるよう病院勤務の医療従事者へ研修を実施する。	指標	人/年	60	60	60	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.2.28オンライン開催 内容:認知症の人を支える多職種連携 認知症の対応の基本と応用 	
	実績	人/年	128	84						
	指標	人/年	60	60	60					

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)
			単位	R3	R4	R5		
<p>○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。</p>	認知症介護実践者研修	認知症高齢者を介護する職員に対し、認知症介護に関する専門的な知識・技術を習得する研修を実施する。	指標 人/年	100	100	100	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回：R4.6.20～8.16実施（受講者数58人） ・第2回：R4.9.27～11.29実施（受講者数49人） 内容：認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 QOLを高める活動と評価の観点 家族介護の理解と支援方法、権利擁護に基づく支援 地域資源の理解とケアへの活用 生活支援のためのケアの演習 現場実習	<p>○各種研修については、オンライン等による開催など、研修参加しやすい環境等を整備する。</p> <p>○認知症サポート医の養成、認知症サポート医の活動の充実を図る取組については、医師会の認知症委員会の協力を得ながら進める。</p>
	実績 人/年	65	107					
	認知症介護実践リーダー研修	実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、施設・事業所において、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有したリーダーの養成を目的とした研修を実施する。	指標 人/年	30	30	30	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.8.23～10.14実施 内容：認知症の専門的理解 認知症ケアに関する施策の動向と地域展開 チームケアを構築するリーダーの役割 ケアカンファレンスの技法と実践 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 職場内教育の基本視点とOJTの実践 自施設実習	
	実績 人/年	32	18					
	認知症対応型サービス事業管理者研修	介護保険施設等の介護従事者等で一定の要件を満たした方、または実践者研修を修了している方を対象に、認知症介護の理念・知識を習得するとともに、認知症対応型事業所を管理・運営していく上で必要な知識・技術を習得することを目的とした研修を実施する。	指標 人/年	50	50	50	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.12.8～12.9実施 内容：地域密着型サービス基準について 介護従事者に対する労務管理について 地域密着型サービスの取り組みについて 適切なサービス提供のあり方について	
	実績 人/年	43	38					
	認知症対応型サービス事業開設者研修	認知症対応型共同生活介護及び小規模多機能居宅介護事業所を運営する法人の代表者（開設者）を対象に、認知症対応型サービス事業の運営に必要な知識を身につけることを目的とした研修を実施する。	指標 人/年	30		30	<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度は未実施 ※県と隔年実施 	
	実績 人/年	11						
	認知症介護指導者研修	高齢者介護実務者及びその指導的な立場にある者に認知症介護の質の向上に関する認知症介護実践を企画・立案し、講義、演習、実習を担当できる能力を習得するとともに、介護保険施設等において介護の質の改善について指導的役割を果たすことのできる人材を育成することを目的とした研修を実施する。	指標 人/年	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み者が1名いたが新型コロナウイルス感染症の影響により受講を辞退した。 	
	実績 人/年	0	0					
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	介護サービス計画作成担当者を対象として、認知症介護に関する知識・技術を修得する研修を実施することで、事業所全体の質の向上を図る。	指標 人/年	30	30	30	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.2.20～2.21実施 内容：総論・小規模多機能ケアの視点 地域生活支援 ケアマネジメント論 チームケア 居宅介護支援計画作成の実際	
実績 人/年	21	16						
認知症介護基礎研修	介護福祉士等の資格を有しない新任の介護職員を対象として、認知症介護に携わる者が、その業務を遂行する上で基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基礎的なサービス提供を行うことができるようになるための研修を実施する。	指標 人/年	100	100	100	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護研究・研修仙台センター主催のeラーニングにより実施 		
実績 人/年	189	148						
認知症サポート医の養成	かかりつけ医、専門医療機関、地域包括支援センターなどと連携し、認知症に関わる地域医療体制構築の推進役となる「認知症サポート医」を養成する。	指標 人/年	3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・国立長寿医療研究センターが主催（オンライン開催） 医師会推薦3人含め計5人が受講（養成医師累計54人） ・R4.12.4オンライン開催により認知症サポート医フォローアップ研修を実施（参加者35人） 内容：最新の認知症治療について症例報告 認知症サポート医のこれからの在り方		
実績 人/年	3	5						

③医療・介護連携による切れ目のない支援

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況				実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)	
			単位	R3	R4	R5			
○認知症は早期発見、早期診断、早期対応が大切なことから、引き続き在宅医療・介護連携を推進するとともに、医療介護関係者等の人材育成や介護サービス基盤を整備し、支援体制を強化していきます。	12 認知症疾患医療センター運営事業 (認知症疾患対策事業)	認知症疾患医療センターにおいて、認知症疾患に関する鑑別診断、急性期治療、専門医療相談などを実施するとともに、認知症ケアに関わる機関との連携強化を図り、認知症疾患の保健医療水準を向上させながら、認知症の人が相談しやすい環境を整える。	/				<ul style="list-style-type: none"> ・市内2箇所に設置 白根緑ヶ丘病院(南区)、総合リハビリテーションセンター・みどり病院(中央区) ・R4実績 専門医療相談3,057件、鑑別診断692件、紹介586件、逆紹介 1,117件 連携会議(懇話会)、研修会(市民公開講座、家族教室等)の実施 	○R5年度は計画策定年度のため、認知症対策地域連携推進会は年3回開催予定	
	13 認知症対策地域連携推進会議	認知症施策の円滑な推進や、医療と介護の連携強化を図るため、現状把握や課題の分析、検討協議を行う。	/				<ul style="list-style-type: none"> ・R4.11.8オンライン開催 内容:認知症地域支援コーディネーター配置事業について高齢者の地域における見守り体制の構築について認知症施策の実施報告 認知症初期集中支援推進事業報告 ・R5.3.28開催 内容:認知症施策の実施報告 今後のチームオレンジの進め方 		
	14 認知症地域支援推進員の配置	認知症の人と家族に対し、必要とされる医療や介護、生活支援サービスの提供が効果的になされるよう、医療機関や地域包括支援センター、介護保険事業者や認知症の人と家族の会などと連携を図るため「認知症地域支援推進員」を配置している。	/				<ul style="list-style-type: none"> ・本庁に2名配置 ・認知症施策の企画・立案、研修や会議の開催、認知症サポート医、認知症疾患医療センター等関係機関との連携促進、認知症初期集中支援チームへの支援、認知症サポーターの養成・活動支援等を実施 		
	15 グループホーム整備事業	認知症になっても、住みなれた地域で過ごすことができるよう、今後の認知症高齢者の増加の状況や各日常生活圏域の整備状況を踏まえながら、グループホームの整備を進める。また、既存事業所の2ユニット化により、増設を図る。	指標	定員数	45	72	72		<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス指定候補事業者の公募を行い整備事業者3者(定員各18人)を決定
			実績	定員数	36	54			
16 小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護含む)整備事業	小規模多機能型居宅介護は、「通い」を中心に利用者の生活様式や希望に応じ「訪問」、「泊まり」を組み合わせ提供されるサービスで、顔なじみの介護職員が対応する。医療ニーズの高い方にも柔軟に対応できるように、訪問看護の機能を合わせた看護小規模多機能型居宅介護事業所とあわせて整備を行う。	指標	定員数	58	116	116	<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス指定候補事業者の公募を行い整備事業者3者(登録定員各29人)を決定 		
		実績	定員数	29	87				

④認知症に理解のある地域社会の実現

取組方針	事業名	事業概要	指標および実施状況					実施状況(R4年度)	今後の主な取組(R5年度)	
				単位	R3	R4	R5			
<p>○認知症の人や家族が住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、認知症に理解ある人や認知症サポーターとともに、身近な地域における支援体制の構築を進めています。</p> <p>○また、若年性認知症の人が、適切な支援を受けられるよう、若年性認知症支援コーディネーターや医療機関等と連携を図りながら支援体制の構築を検討していきます。</p>	17	徘徊高齢者家族支援サービス事業	位置情報を把握できる小型通信機器を徘徊症状のある高齢者に携帯してもらうことで、高齢者の事故を防止し、家族の負担を軽減を図る。	指標	人/年	35	44	53	・65歳以上14人、65歳未満0人	<p>○認知症地域支援コーディネーターの活動エリアを中央区以外の地域にも広げ、認知症カフェへの運営支援を含め、チームオレンジの整備を認知症地域支援コーディネーターと連携を進める。</p> <p>○若年性認知症の人の支援体制の構築に向け、若年性認知症支援コーディネーターと関係機関とのネットワークづくりや連携体制の強化を図る。</p>
				実績	人/年	19	14			
	18	はいかいシルバーSOSネットワーク	行方不明高齢者の早期発見・早期保護とその後のケアを図るため、警察等関係機関と協力しながらネットワークの構築を進める。	/					<p>・県警が実施している認知症の人などの行方不明者情報のFAX送信を活用し、各警察署管内で協力機関と見守り体制の構築を図った。</p> <p>・行方不明者の広域支援体制については、県警の「ひかるくん・ひかりちゃん安心メール」にて行方不明者情報の配信を継続</p>	
	19	認知症カフェや家族会への支援	認知症の人と介護者が共に安心して過ごせる居場所である認知症カフェや家族会の情報を発信するなど、その活動を支援する。	/					<p>・市が把握している認知症カフェ(16か所)や認知症介護家族会(4か所)について、市ホームページへの掲載やパネル展や講演会等においてチラシ等を設置し情報発信を実施</p> <p>・市内のカフェ運営者同士の情報交換会の開催(R5.2.8) 内容:「各地域の中での認知症カフェのあり方」についてオレンジカフェしもまちの取組み紹介 【再掲】</p>	
	20	認知症サポーターステップアップ講座	認知症の人や家族の支援者として活躍できるよう、意欲のある認知症サポーターを対象に講座を開催する。	指標	人/年	50	50	50	<p>・R4.11.24実施 受講者11人(累計136人) 内容:認知症への理解を深める サポーターとしてできることって何だろう? 認知症の人の気持ちを想像してみよう</p>	
				実績	人/年	13	11			
	21	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、認知症の人や家族のニーズを認知症サポーターにつなぐ仕組み(チームオレンジ)を構築する。	/					<p>・認知症地域支援コーディネーター1名を配置(総合リハビリテーションセンター・みどり病院)しモデル事業を継続</p> <p>・活動エリアの中央区しもまち地域においてチームオレンジ1か所設置し、認知症ステップアップ講座の開催(月1回)、認知症カフェ開設(月1回)、徘徊模擬訓練を実施(R4.9.28)</p>	